

奈良県地域教育力サミット第2部会オープンセミナー 資料

明日香村の学校・地域コミュニティ事業の取組の概要と課題

明日香村教育委員会

1. 明日香村の概要

村人口 5,878人

明日香幼稚園（3～5歳児）80人 明日香小学校229人 聖徳中学校152名

教職員 54名（教員・講師・非常勤講師含む）

2. 明日香村の教育課題

（1）基礎的な言語力の育成（幼小中全クラス・全教科・全教育活動で）

- ◎ 「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」
- ◎ 学習規律（きちんと立つ・正しく座る・ていねいな言葉づかい・「ハイ」の返事）の定着
- ◎ あいさつ・ありがとう・「～です」の言葉づかい・整理整頓・きまりを守る。

（2）郷土を愛し、郷土を語れる子ども

- ◎ 郷土学習プログラムの創造
- ◎ 郷土に誇りをもって語れる子ども

（3）英語活動・英語教育の創造

- ◎ 基礎的な学力の定着
- ◎ 中学3年生で基礎的なコミュニケーション力の定着
- ◎ 明日香に根差した「国際人」の育成

（4）確かな学力と豊かな心の育成

- ◎ 興味・関心を高め、自ら主体的に学ぶ意欲の醸成
- ◎ 心の教育を通して、「自らの生き方を切り開く力」の醸成

（5）たくましい体力の育成

- ◎ 放課後・土曜日・日曜日の活用



学校・地域コミュニティ協議会

これらの教育課題は、保護者・地域の参画と協働なしには解決できない。いかに、地域のマンパワーを活かすかである。そのためには、教師自身が教育課題解決に向けて、地域の皆さんと共に教育に打ち込むという決意と、地域の人々の「自立した明日香の子を育成する」という情熱が必要である。

3. 学校・地域コミュニティ事業の取組の概要

(1) 学習支援活動（25年4月よりの取組）

幼稚園

お話し会 月1回 学年ごとに 9名
おやつ作り 月1回 6人

小学校

お話し会 月1回 学年ごとに 9名
家庭科授業支援 調理・裁縫実習補助 年間10回程度 8名

図書室支援 毎日1～3名

郷土学習「明日香科」授業支援 地域住民 随時

中学校

学習支援 定期テスト前学習支援 年間10回程度 英数 3名

郷土学習「明日香学」授業支援 地域住民 随時



幼稚園のおやつ作り

(2) 環境整備活動（25年4月よりの取組）

幼稚園 畑の耕作・野菜作り（10a）2名 随時

小学校 学校園・学級園の整備 15名 常時活動

中学校 環境整備 年3回 延60名



子どもと共に花壇を

(3) 登下校の見守り活動・あいさつ運動（24年9月よりの取組）

・あいさつ運動 136名 参加

幼稚園 火・木 8:40～9:00 各3名 13名

小学校 水・金 7:45～8:15 各3名 13名

中学校 火・木 7:45～8:15 各3名 13名

・大字での登校見守り 26大字 97名 ほぼ毎日



自らあいさつのできる子に

(4) 放課後子ども教室（24年度）

子どもわくわく教室

・放課後5校時または6校時

・対象 1年生全員

・指導者 社会教育委員・民生児童委員・スポーツ推進委員・食推
学習アドバイザー・お話し会等 46名

・年間 28回開催

その他

・親子わくわく体験教室

7/29 木工体験 子30名 親21名 参加

8/5 懐かしのおもちや作り 子11名 親7名 参加

(5) 総合型地域スポーツクラブ (24年度)

会員 小学生145人 中学生9人 成人281人

事業実績

小学生プール教室	10回	延	951名
少年少女サッカー教室	27回	延	1033名
新体操教室	29回	延	282名
チアリーディング	31回	延	631名
小学生ソフトテニス	27回	延	856名
キッズ親子体操	22回	延	275名
少年野球体験会	2回	延	60名

(6) 放課後児童クラブ (学童保育) 25年9月より

小学1年生 4人 小学2年生 8人 小学3年生 5人

4. 学校・地域コミュニティ事業を振り返って、1年間で何が進んだか

(1) 幼小中の先生方の会議・研修により教育課題と解決の方向が見えてきた。

- ◎ 幼小中教職員合同研修会 (年3回 5月8日・8月28日・3月5日 全員参加)
 - ◎ 幼小中一貫教育推進実行委員会 (年3回 5月21日・10月17日・2月18日)
 - ◎ 幼小中保育・授業研修会 (幼 11月20日 小 10月18日 中 未定)
 - ◎ 一貫教育推進委員会 毎週1回 (年40回)、言語・英語・郷土学習・芸術各部会 月1回
- 保護者や地域の協力を得なければ、自立した明日香の子、確かな学力は付けられない。**



明日香の子の課題は？

(2) 各課題ごとに地域の方の意見を聞く会を開いた。

- ◎ あいさつ運動についての意見交換会 8月1日 24名出席
あいさつ運動によって、子どもや大人がどう変わったか、これからの方向について検討
- ◎ 郷土学習についての意見を聞く会 9月24日 14名出席



あいさつ運動意見交換会

- 子どもたちに本物の見学調査による体験と感動を オール明日香で支えていこう。 伝統芸能の継承は社会教育として、土・日曜日の活用を考えてほしい。
- ◎ 学校・地域コミュニティ協議会 6回 次回 10月16日予定
土曜授業・土曜学習塾 (明日香岸序^{しやうじよ}) の開設の検討・・・地域としてどうするか

- ◎ P T A ・保護者部会 学期に1回 次回10月24日
基礎的な言語力を付けるために家庭で何ができるか
土曜授業・土曜学習塾に対する保護者としての意見
幼稚園P T A研修 7月 5日 一貫教育の推進
〃 1月18日 講演会 (吉永先生)



郷土学習 意見を聞く会

(3) 学校教育が地域の方の支援によって進んでいる。(教員・支援者の意識の変化)

- ◎ 地域の方の支援を得ることはありがたい。
- ◎ 自らあいさつする子 45% ➡ 54% ➡ 73%
- ◎ 子どもたちに支援することは喜びであり、生きがいである という感想が多い。

(4) 明日香村広報により、毎月、村民に活動の様子を報告している。

- ◎ 「幼小中一貫教育推進だより」として、シリーズで毎月、村民に報告 (1～14号)
(一貫教育で具体的に取り組んでいる内容を子どもの姿で報告している)

5. 学校・地域コミュニティ事業の2年目で解決しなければならない課題

(1) 学校と協力者の交流・意志疎通をさらに深める必要がある。

- ・「参画」の意識まで至っていない。「協力してもらっている」「協力してあげている」という意識が強い。

(2) 明日香の子どもたちが抱えている課題を共有し、協働で取り組む体制が課題ごとに必要である。

「協働」の意識を育てていく。

- ・基礎的な言語力の育成
- ・郷土学習の創造
- ・英語活動・英語学習の創造
- ・確かな学力の定着 (26年度の課題) 土曜授業または土曜学習塾 (明日香庠序)
- ・豊かな心の教育 (26年度の課題) 土曜授業または土曜学習塾 (明日香庠序)
- ・たくましい体力づくり

(3) 「子どもたちがどのように変わっていったのか」という視点を大切にしながら取り組む。

- ・点検と評価、取組の様子を村民に報告
- ・常に「自立した明日香の子」を育てるという視点を忘れない。

明日香村の教育目標・マスタープランがどこまで実現できたのかを大切にしたい。事業や取組に何人の協力があったという結果ではなく、事業や取組によって子どもがどう変わったのか、地域住民の意識がどう変わったのか、教職員の意欲や情熱がどう変わってきたのかを大切にしたい。常に評価と点検をし、「自立した明日香の子」を育成するために、学校・地域・保護者・教育委員会が一体となって取り組んでいきたい。そのために、情報や課題を共有し、取組の様子を広く村民に伝えていきたい。